



令和4年6月17日
布水中学校
保健室

暑い時期のマスクの着用について

今年も With コロナの夏がやってきました★現在感染状況は全国的に比較的落ち着いてきていますが、市内の感染状況は明らかに改善したとはいえ、「三密の回避」「人と人との距離の確保」「手洗いや手指消毒」「マスクの着用」など基本的な感染対策はまだ継続しなければなりません。しかし、この夏場に関しては熱中症対策の方が重要です。理由としては、熱中症の方が命に関わるリスクが高いからです。マスクを着けると、皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかないうちに脱水になるなど、体温調整がしづらくなってしまいます。

よって、夏場に関してはコロナ予防も大切ですが、“熱中症予防の方がもっと大切”だと考えてください。

布水中学校では、ホームページに掲載しているとおり（<https://cms1.ishikawa-c.ed.jp/fusuij/wysiwyg/file/download/1/1391>）熱中症対策を進めています。この夏場はマスクの着用に関する文部科学省からの指針をもとに感染対策と熱中症対策を両立させていきます。お家の人と一緒によく読んで、環境や状況に応じたマスクの着用を考えていきましょう。

マスクの着用が必要ない場面＝熱中症のリスクが高い場面

体育の授業中

運動部活動の活動中

登下校時

夏場は、上のような場面ではマスクを積極的に外しましょう。マスクを外した時には、できるだけ人と距離を取ったり、近距離での会話を控えることを意識しましょう。また、屋内の体育館などでは、換気などマスク着用以外の感染対策を徹底しましょう。

※運動部活動で接触を伴う活動を行う場合は、各競技団体が作成するガイドライン等を確認しましょう
※活動場所以外や更衣室、食事場所では、状況に応じてマスク着用を含めた感染対策を徹底しましょう

～保護者の方へ～

学校では、上記のように熱中症リスクが高い場面では、マスクを外すよう指導していきます。しかし、もしお子様が個別の理由でマスクの着用を希望する場合は、その思いに沿った熱中症対策を保護者の方と一緒に教えていきたいと思っておりますので、学校へご相談ください。